

# 平成30年度 余市町の予算説明書



北海道横断自動車道

「余市一小樽間」いよいよ開通！

余 市 町

## 「余市町の予算説明書」作成にあたって

皆様には、日ごろから余市町のまちづくりにご支援、ご協力をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

今、地方を取り巻く環境は、人口の減少や高齢化、福祉需要の増大などにより依然として厳しい財政状況が続いておりますが、平成30年度の町政の執行にあたりましては、「第4次余市町総合計画」及び「余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に進めることにより、本町の活性化に向けた取り組みを推進してまいります。

また、北海道横断自動車道の余市延伸により、物流や人の流れが大きく変わることが予想されることから、余市町の歴史・文化・産業などの魅力のさらなる発信、知名度が向上している余市町産ブドウを使ったワインのPR、ワインツーリズムなどのワイン関連事業の展開を図り、本町を訪れる方々が、来て良かった、また来たいと思えるまちづくりをより一層進めてまいります。

本年度より「余市町自治基本条例」が施行されます。今年で8回目の発行となる余市町の予算説明書では、町の予算がどのように使われようとしているのかを知っていただき、町民と行政による協働のまちづくりの一助となれば幸いと存じます。

この魅力あふれる余市町をより住みやすいと思えるまちにするため、職員一丸となって邁進してまいります。今後とも、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

余市町長 嶋 保

# — 目 次 —

平成30年度の予算規模・取り組みについて・・・・・・・・・・1～2P

## 平成30年度の事業概要

I 子育て・福祉・健康・・・・・・・・・・3～6P

II 教育・文化・・・・・・・・・・7～8P

III 生活環境・・・・・・・・・・9～12P

IV 産業・労働・・・・・・・・・・13～16P

V 自治・まちづくり・・・・・・・・・・17～18P

特別会計・公営企業会計・・・・・・・・・・19～20P

## 資料編

人件費の状況・・・・・・・・・・21P

補助金について・・・・・・・・・・22P

一般会計の歳入予算について・・・・・・・・・・23～24P

一般会計の歳出予算について・・・・・・・・・・25～26P

町の財政の健全性について・・・・・・・・・・27～30P

# 平成 30 年度の予算規模

全会計総額 165 億 9,675 万円

(一般会計対前年度比 4.6%増)

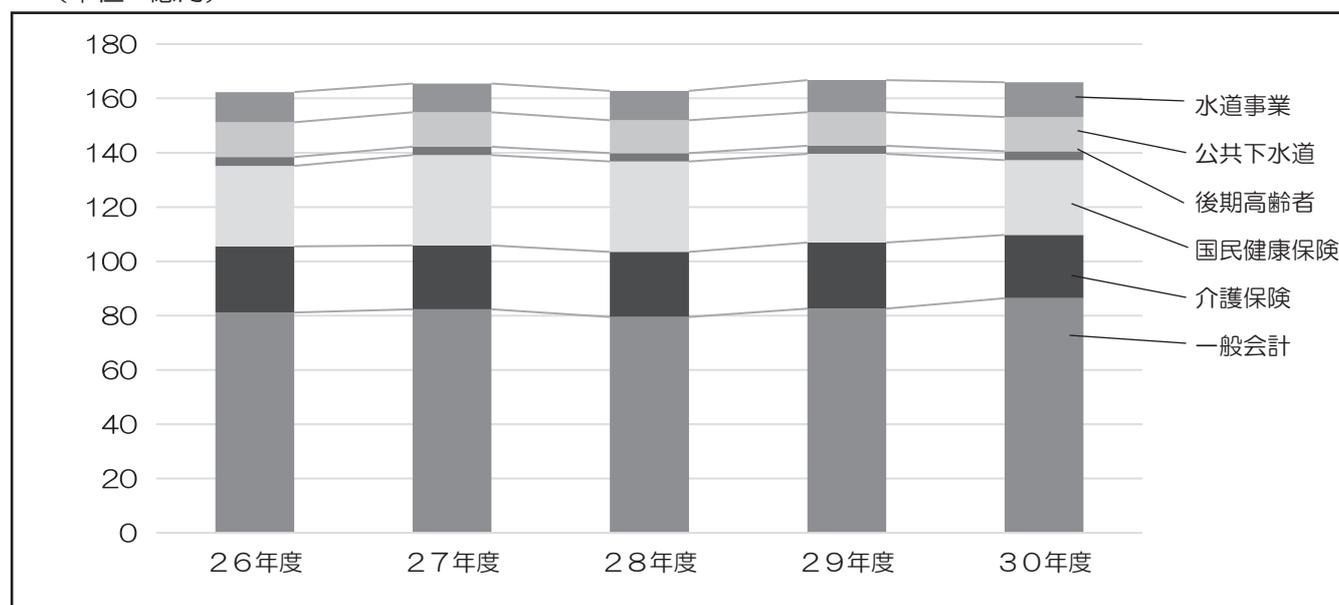
平成 30 年度の一般会計における予算規模は、町営斎場の建替事業や高速道路開通に伴う道路整備事業の増額などにより前年度比 4.6%増の 86 億 4,000 万円、特別会計は 7.8%減の 66 億 6,775 万円、企業会計は 9.0%増の 12 億 8,900 万円となり、総額では 0.5%減の 165 億 9,675 万円となっています。

## 平成 30 年度当初予算総額

会 計 名	平成 30 年度	平成 29 年度	前年度との比較	
一 般 会 計	86 億 4,000 万円	82 億 6,000 万円	3 億 8,000 万円	
特 別 会 計	介 護 保 険 事 業	23 億 3,105 万円	24 億 3,381 万円	△1 億 276 万円
	国民健康保険事業	27 億 4,900 万円	32 億 6,200 万円	△5 億 1,300 万円
	後期高齢者医療事業	3 億 2,900 万円	2 億 9,930 万円	2,970 万円
	公共下水道事業	12 億 5,870 万円	12 億 3,492 万円	2,378 万円
	特別会計合計	66 億 6,775 万円	72 億 3,003 万円	△5 億 6,228 万円
公営企業会計(水道事業)	12 億 8,900 万円	11 億 8,256 万円	1 億 644 万円	
全 会 計 合 計	165 億 9,675 万円	166 億 7,259 万円	△ 7,584 万円	

## 過去 5 年間の予算規模の推移

(単位：億円)



# 平成30年度の取り組みについて

## ○まちづくりの3つの基本方針

本年度も、平成24年度から平成33年度までの10年間を計画期間として策定した「第4次余市町総合計画」の基本構想に掲げる3つの基本方針の実現に向け、引き続き計画的なまちづくりを進めます。

### ・ **住み良く安心して暮らせるまちづくり**

主人公である町民が、この町に住んで良かったと思えるような、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

### ・ **多様な資源と人的パワーを活かした元気なまちづくり**

産業間・産学官の連携、人的パワーの活用、教育・文化芸術活動とスポーツの振興により、元気なまちづくりを進めます。

### ・ **町民と行政が連携して歩むまちづくり**

町民の立場に立った行政運営を推進し、町民と行政の連携によるまちづくりを進めます。

## ○平成30年度の予算編成のポイント

平成30年度の予算編成にあたっては厳しい財政状況の中、全ての事業について事業効果を検証のうえ、その必要性を再検討し徹底した経費の節減と歳入確保に引き続き取り組むとともに、「第4次余市町総合計画」の計画的な推進と、子育て支援や本町の地域資源を最大限活用した産業の振興など「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各種施策の推進を主眼に予算編成を行いました。

## ○平成30年度事業分野

町政執行の基本方針を基に事業を分類しました。

### I **子育て・福祉・健康**

町民の福祉や医療など暮らしと健康を守るための事業

### II **教育・文化**

教育・文化・スポーツの振興と人材育成を図るための事業

### III **生活環境**

社会資本の整備や環境保全、防災などの町民の安全・生活を守る事業

### IV **産業・労働**

産業の振興と労働対策に関する事業

### V **自治・まちづくり**

行財政運営と協働のまちづくりを進めるための事業

# I 子育て・福祉・健康

## 事業概要の見方

○事業名・予算額（万円単位で表示）

（担 当）：事業実施している担当部署

（事業内容）：事業目的など

（主な経費）：具体的な予算の使い道と金額

\*少額の経費は省略しているため  
必ずしも予算額と一致しません。

（財 源）：町の負担 町民税など使途が決められていないお金

国の負担 国からの支出金

道の負担 北海道からの支出金

受益者の負担 参加者や利用者の負担

新規

平成30年度から新たに実施する事業

拡充

拡充した事業や予算を増額した事業

注目

継続事業の内、特に注目して頂きたい事業

## ～町民の福祉や医療など、暮らしと健康を守るための事業～

### 注目 母子（乳幼児）保健事業

384万円

（担 当）保健課保健指導グループ

（事業内容）

安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から子育て期における母子健康教室、妊産婦訪問、子育て相談、乳幼児健康診査を行う予算です。

平成29年10月から不妊・不育症に悩む夫婦の経済的な負担を軽減するため、不妊治療費等助成事業を実施しています。

（主な経費）

不妊治療費等助成事業 186万円

母子（乳幼児）保健事業 198万円

（財 源）

町の負担 383万円

受益者の負担 1万円



### 注目 医療給付事業 1億1,682万円

（担 当）保健課医療給付グループ

（事業内容）

中学生までの子ども、重度心身障がい者、ひとり親家庭等の医療費の一部を助成する予算です。

平成29年10月から子どもの医療費助成となる対象を小・中学生の外来・入院費に拡充しました。

（主な経費）

重度心身障がい者医療助成費 6,720万円

ひとり親家庭等医療助成費 1,080万円

乳幼児等医療助成費 1,740万円

子育て支援医療助成費 1,200万円

未熟児養育医療助成費 105万円

食事療養費等助成費 108万円

（財 源）

町の負担 6,211万円

国の負担 32万円

道の負担 3,678万円

受益者の負担 1,761万円

### 新規 旧黒川保育所解体事業 788万円

（担 当）町民福祉課児童福祉グループ

（事業内容）

老朽化している旧黒川保育所の解体工事を行う予算です。

（主な経費）

工事請負費 788万円

（財 源）

町の負担 788万円



### 注目 子ども・子育て支援事業 2億9,285万円

（担 当）町民福祉課児童福祉対策室, 児童福祉グループ

（事業内容）

子ども・子育て支援新制度に基づき、幼児期の学校教育や保育、地域の子ども・子育て支援の充実を図るための予算です。

①保育事業：町立保育所（2カ所）の運営と私立保育園への負担金です。

②教育事業：新制度に移行した幼稚園（3カ所）への負担金です。

③地域子ども・子育て支援事業

「余市町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、次の事業を行います。

時間外（延長）保育：保護者の就労形態の多様化に対応するため、保育時間の延長を行います。

一時預かり保育（一般型）：保育所などに通っていないお子さんを一時的にお預かりします。

〃（幼稚園型）：新制度に移行した幼稚園の在園児を対象に教育時間を超過してお子さんをお預かりします。

地域子育て短期支援事業：保護者の疾病などの理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童を児童福祉施設において養育します。

放課後児童クラブ：町内3小学校において、放課後や夏期・冬期の休業日などに、保護者が就労などで日中不在の小学校6年生までの児童に遊びを中心とした生活の場を提供しており、午後6時まで開設しています。

地域子育て支援拠点事業：黒川児童館において、子育てに関する相談や、子育て中の親子が気軽に集える場を提供しています。

（主な経費）

保育事業 1億1,605万円

教育事業 1億4,812万円

地域子ども・子育て支援事業 2,868万円

（財 源）

町の負担 9,138万円

国の負担 8,300万円

道の負担 6,934万円

受益者の負担 4,913万円



地域子育て支援拠点事業  
（キッズルームアップル）

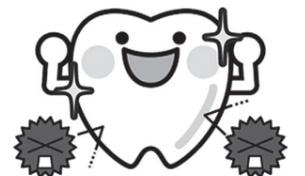
### 【その他主要事業】 その他主要事業を紹介します。

#### ○妊婦健康診査事業 873万円

妊娠中のお母さんとおなかの赤ちゃんの健康を確認し、安心して出産を迎えていただくため、妊婦健康診査の費用を助成する予算です。定期的に妊婦健康診査を受診していただけるよう妊娠週数に応じ、一般健康診査（最大14回分）と超音波検査（最大6回分）の受診券を母子健康手帳交付時に発行しています。

#### ○歯科保健事業 81万円

子どもの歯の健康を守るため、幼児歯科健康診査やフッ化物塗布及び洗口によるむし歯予防を行う予算です。



# I 子育て・福祉・健康

○児童手当の支給 **2億3,000万円**

○予防接種事業 **4,186万円**

感染のおそれがある病気の発症及びまん延を防ぐため、予防接種の費用を助成する予算です。

(助成対象ワクチン)

中学生以下インフルエンザワクチン

高齢者インフルエンザワクチン

B型肝炎ワクチン

BCGワクチン

麻しん・風しん混合ワクチン

二種混合ワクチン

四種混合ワクチン

ヒブワクチン

小児用肺炎球菌ワクチン

不活化ポリオワクチン

日本脳炎ワクチン

水痘ワクチン

子宮頸がんワクチン

大人用肺炎球菌ワクチン

○がん検診事業 **1,516万円**

がんを早期に発見し、早期治療につなげるため、各種がん検診を行う予算です。

○ブックスタート事業 **10万円**

赤ちゃんが健やかに育つことを願い、乳児健診(10カ月)のときに絵本の読み聞かせをしたり、育児に役立つ資料を配布する予算です。



○基本健康診査事業 **283万円**

○救急医療啓発普及事業 **685万円**

休日及び夜間診療を確保するため在宅当番医の調整や救急医療体制の整備、救急医療に関する知識を啓発普及する予算です。

○地域生活支援事業 **3,344万円**

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方を支援する予算です。

(移動支援)

屋外での移動が困難な障がいのある方が、外出するときの支援です。

(日中一時支援)

障がいのある方を日中一時預かりすることにより家族の負担軽減を図るとともに、本人に対して社会に適應するための訓練を行います。

(相談支援)

地域で安心して生活をするための必要な相談支援体制を整えるものです。

(理解促進研修・啓発事業)

障がいのある方への理解を深めるため、研修や啓発を行います。

(日常生活用具給付)

重度障がいのある方に、日常生活用具(蓄便袋、蓄尿袋、歩行補助用杖、たん吸引器など)の購入費用を助成します。

(手話通訳者派遣)

聴覚に障がいのある方に、意思疎通が困難な場合は、手話通訳者を派遣します。

(手話奉仕員養成)

手話奉仕員を養成するための講座を開催します。

(成年後見制度利用支援経費)

知的障がいや精神障がいのある方が、成年後見制度を利用する際、申立てを行う親族がいない場合に、町が申立てを行うものです。

○障がい福祉サービス等給付事業 **4億6,616万円**

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方が、在宅で介護の支援を受けたり、施設に通所または入所するなどのサービスを提供する予算です。

○障がい児通所給付事業 **7,430万円**

児童福祉法に基づき、障がいのある児童などが、施設に通所して訓練など必要な支援を受けるための予算です。

○自立支援医療給付事業 **5,349万円**

障がいのある方に、その治療を受けるための医療費を助成する予算です。

(更生医療給付)

18歳以上の障がい者手帳の保持者で、人工透析や人工関節手術などが対象になります。

(育成医療給付)

18歳未満の児童で、脳性小児まひ・慢性中耳炎・大動脈狭さくなどが対象になります。

○補装具給付事業 **781万円**

障がいのある方の身体機能を補う装具の購入や修理のための費用を助成する予算です。主なものに、車いす、補聴器、盲人安全杖などがあります。

○障害支援区分認定審査会経費 **312万円**

○小樽・北しりべし成年後見センター運営事業 **193万円**

小樽・北後志5町村共同で、同センターの運営及び市民後見人を養成するための予算です。

○高齢者等除雪サービス事業 **98万円**

冬期間の生活道路確保のため玄関先から公道までの幅1メートル程度を除雪する予算です。

対象者は、独居高齢者、高齢者夫婦、身体障がい者世帯などで、自力での除雪が困難で、除雪援助してくれる扶養義務者・親族等がいない世帯です。

(収入要件があります。)

○介護保険サービス利用者負担軽減事業 **29万円**

○老人福祉施設入所経費 **1億2,904万円**

○老人福祉施設整備費 **1,293万円**

○在宅介護支援センター運営事業 **420万円**

○健やか高齢者表彰事業 **2万円**

介護認定を受けておらず、かつ医療機関に入院していない90歳以上の高齢者の方々に賞状を贈呈し表彰します。また、そのうち毎年度95歳に到達した方に記念品を贈呈するための予算です。

○百歳敬老祝い金事業 **30万円**

長年にわたり本町の発展に寄与され、100歳を迎えられた方々に対して祝い金を贈呈し、長寿をお祝いするための予算です。



○福祉センターの管理 **391万円**

光熱水費や委託料など施設管理や運営を行うための予算です。

○福祉センター入舟分館の管理 **131万円**

○社会福祉施設(黒川会館ほか9施設)の管理 **269万円**

○生活館(黒川八幡、黒川17区)の管理 **63万円**

○黒川・沢町児童館の管理 **146万円**

○老人福祉センターの管理 **378万円**

○北後志母子通園センターの管理 **519万円**

## II 教育・文化

### ～教育・文化・スポーツの振興と人材育成を図るための事業～

#### 拡充 外国語指導助手による英語教育事業 1,286万円

(担当) 学校教育課学校教育グループ

(事業内容)

各町立学校の外国語指導助手を任用する予算に加え、平成32年度の学習指導要領の改訂を見据え、移行期間である本年度から小学校3・4年生の外国語活動を前倒し実施するため、新たに1名を増員し、3名体制として児童生徒の英語教育の充実を図る予算です。



(主な経費) 指導助手報酬 928万円 指導助手住宅借上料 198万円

(財源) 町の負担 1,286万円

#### 各小中学校改修整備事業

1,400万円

(担当) 学校教育課学校教育グループ

(事業内容)

児童生徒の良好な教育環境を維持するため、各小中学校の改修整備を行う予算です。本年度は、東中学校の屋上防水工事を行います。

(主な経費) 工事請負費 1,400万円

(財源) 町の負担 1,400万円

#### 新規 各中学校部活動指導員配置事業

96万円

(担当) 学校教育課学校教育グループ

(事業内容)

中学校に部活動指導員を配置し指導の充実を図るための予算です。

(主な経費) 指導員報酬 96万円

(財源) 町の負担 96万円

#### 新規 中央公民館外壁改修事業 2,471万円

(担当) 社会教育課社会教育グループ

(事業内容)

中央公民館北側及び東側の外壁の改修工事を行う予算です。

(主な経費) 工事請負費 2,471万円

(財源) 町の負担 2,471万円



#### 新規 史跡旧余市福原漁場再整備事業 346万円

(担当) 社会教育課社会教育グループ

(事業内容)

国指定史跡旧余市福原漁場の防災設備を改修するための設計を行う予算です。

(主な経費) 設計委託料 346万円 (財源) 町の負担 346万円



#### 未来を担う青少年育成事業 15万円

(担当) 企画政策課政策グループ

(事業内容)

余市町の未来を担う青少年を育てるため、ふるさと応援寄附金を活用して、青少年を対象とした事業を行うための予算です。

(主な経費) 未来を担う青少年育成事業開催経費 15万円

(財源) 町の負担 15万円



平成29年度会津若松市の生徒との交流事業

\*これまでに、福島県会津若松市や広島県竹原市との児童・生徒の交流事業、サッカー教室などの開催、スコットランドへの中学生派遣事業を実施しています。

#### 【その他主要事業】

##### ○学習支援事業 1,098万円

学校生活や学習上に困り感をもった児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒に個に応じたきめ細やかな教育活動の充実を図るため学習支援員を配置する予算です。

##### ○教職員住宅解体事業 387万円

老朽化している教職員住宅の解体工事を行う予算です。

##### ○スクールバスの運行 1,126万円

##### ○教育研究所の運営 87万円

##### ○小中学校の健康診断等保健業務 894万円

##### ○小中学校の給食調理業務 2,744万円

##### ○児童生徒の就学援助 3,725万円

給食費や学用品代・修学旅行費などの負担が困難な世帯に援助する予算です。また、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するために、必要な経費も援助しています。

##### ○小中学校教育の振興 165万円

##### ○教材・教育・学校備品の購入 1,132万円

##### ○小中学校の運営 3,168万円

学校運営上、必要な委託業務や事務用品の購入、コンピュータの借上げ等を行う予算です。

##### ○適応指導教室の運営 477万円

##### ○青少年の健全育成 393万円

##### ○私立学校助成事業 118万円

##### ○スポーツの振興 136万円

##### ○社会教育事業 166万円

生涯学習の場として文化教室、各種団体による発表会、寿大学、女性学級、成人式、放課後子ども教室などの各種事業を行う予算です。文化教室(歴史ウォーキング)



##### ○図書資料整備事業 319万円

##### ○小中学校の管理 7,719万円

##### ○中央公民館の管理 2,187万円

##### ○図書館の管理 952万円

##### ○水産博物館の管理 369万円

##### ○フゴッペ洞窟の管理 256万円

##### ○総合体育館の管理 1,576万円

##### ○ジャンプ台の管理 360万円

##### ○温水プール、あけぼのプールの管理 910万円

# Ⅲ 生活環境

～社会資本の整備や環境保全、防災などの

町民の安全・生活を守る事業～

## 注目 町営斎場建替事業 2億8,355万円

(担当) 環境対策課環境衛生グループ

(事業内容)

建設後40年以上が経過し老朽化が著しい町営斎場の建替  
工事を行う予算です。

平成29年度 : 基本・実施設計

平成30年度～: 建替工事

平成32年度～: 供用開始



町営斎場建替え後の外観イメージ

(主な経費)		(財源)	
工事請負費	2億8,355万円	町の負担	2億8,355万円

## 注目 住宅取得等支援補助事業 1,145万円

(担当) まちづくり計画課まちづくり建築グループ

(事業内容)

移住定住を目的として本町に転入する世帯及び子育て世帯の住宅取得と町内定住を目的とする住宅取得  
に要する費用の一部を補助するための予算です。

◎移住定住・子育て世帯移住定住促進施策(転入者対象)

◇住宅新築又は建売住宅購入の場合の補助金額

①まほろばの郷地区内: 50万円+土地購入額の10%(上限50万円)

②都市計画用途地域内: 30万円+土地購入額の10%(上限20万円)

※上記①、②とも、町内業者施工の場合は50万円を加算

※上記①、②とも、高校生以下の扶養の子が1人同居の場合は25万円、2人以上同居の場合は  
50万円を加算

◇中古住宅購入の場合の補助金額

①まほろばの郷地区内: 50万円

②都市計画用途地域内: 30万円

※上記①、②とも、高校生以下の扶養の子が同居の場合で、購入後に町内業者施工により  
住宅改修(工事費50万円以上)した場合は、工事費の20%(上限40万円)を加算

◎町内定住促進施策(町内在住者対象)

◇住宅新築又は建売住宅購入の場合の補助金額

まほろばの郷地区内: 土地購入額の10%(上限30万円)

※町内業者施工の場合は50万円を加算

(主な経費)		(財源)	
住宅取得等支援補助金	1,145万円	町の負担	1,145万円

## 新規 各公園施設整備事業 1,415万円

(担当) 建設課管理グループ

(事業内容)

各公園施設の長寿命化計画の策定、運動公園フェンス  
の取替工事を行う予算です。

(主な経費)

長寿命化計画策定委託料 860万円

工事請負費 555万円

(財源)

町の負担 985万円 国の負担 430万円

## 新規 ロータリ除雪車更新事業 4,455万円

(担当) 建設課維持グループ

(事業内容)

ロータリ除雪車を購入する予算です。

(主な経費)

ロータリ除雪車購入費 4,455万円

(財源)

町の負担 1,715万円

国の負担 2,740万円

## 新規 高速道路関連道路整備事業 4,500万円

(担当) 建設課建設グループ

(事業内容)

北海道横断自動車道の余市延伸に伴い、大浜中登線の交差点改良と  
舗装の補修、経路案内を目的とした道路案内標識を整備する予算です。

(主な経費)

大浜中登線道路整備工事費 3,300万円

道路案内標識設置工事費 1,200万円

(財源)

町の負担 2,880万円

国の負担 1,620万円



## 注目 山田団地浄化槽整備事業 1,620万円

(担当) まちづくり計画課まちづくり建築グループ

(事業内容)

町営住宅山田団地の居住性を向上させるため、汲み取り式トイレを浄化槽による水洗トイレに改修する  
ための予算です。本年度は3棟12戸の水洗化工事と関連する委託業務を行います。

(主な経費)

工事請負費 1,300万円

調査・設計委託料 320万円

(財源)

町の負担 810万円

国の負担 810万円

## 新規 合併処理浄化槽設置整備事業 282万円

(担当) 環境対策課廃棄物対策グループ

(事業内容)

公共下水道整備区域外を対象として、生活雑排水による河川・海域の水質汚濁防止、さらには各家庭に  
おけるトイレの水洗化により、快適な暮らしを確保するため、合併処理浄化槽の設置に対して助成を行う  
予算です。

(主な経費)

設置整備事業助成費 270万円

(財源)

町の負担 223万円 国の負担 60万円

# Ⅲ 生活環境

## 注目 防災事業 1,668万円

(担当) 地域協働推進課防災グループ

### (事業内容)

豪雨、暴風、地震、津波などの自然災害や原子力災害の対策のため、防災訓練、防災知識の普及啓発、防災用品を購入する予算です。



区会での災害図上訓練

(主な経費)		(財源)	
防災会議委員報酬など	11万円	町の負担	997万円
避難所用防災用品など	407万円	道の負担	671万円
避難所看板設置委託料	760万円		
Jアラート受信機更新委託料	490万円		

## 地域公共交通網形成事業 711万円

(担当) 企画政策課政策グループ

### (事業内容)

余市町地域公共交通網形成計画作成及び計画実施に向け、公共交通事業者や関係機関・団体、利用者等を構成員とする協議会を組織し、生活交通の検証、地域公共交通のあり方や活性化の方策を協議・検討するための予算です。

(主な経費)		(財源)	
形成計画策定委託料	687万円	町の負担	356万円
		国の負担	355万円

## 保留地管理法入安定化事業 2,475万円

(担当) まちづくり計画課まちづくり建築グループ

### (事業内容)

補助金：黒川第一土地区画整理事業を支援するために設立された保留地管理法の運営経費を補助する予算です。

委託料：まほろばの郷地区のまちづくりの推進と宅地の販売促進を図るため、換地の販売や賃貸等の情報の把握、「保留地」と「換地」の一元的管理などを委託する予算です。



まほろばの郷分譲地

(主な経費)		(財源)	
補助金	1,267万円	町の負担	2,475万円
委託料	1,208万円		

## 【その他主要事業】

- 公害対策事業 **330万円**  
大気中の悪臭物質測定、国道の自動車騒音・振動・交通量調査、河川や海域の水質検査などを行う予算です。
- 環境衛生事業 **64万円**  
飼い犬の登録、狂犬病予防や野犬等の対策、エキノコックス症検査、害虫駆除対策などの環境衛生に関する事業を行う予算です。
- 廃棄物の減量・適正処理 **2億2,391万円**  
循環型社会をつくるため、ごみの適正な分別や処分などを行う予算です。  
(主な経費)  
一般廃棄物収集運搬 6,794万円  
資源物分別収集運搬処理 9,396万円  
廃プラスチック資源化処理 1,716万円  
クリーンセンター運営費 896万円  
じん芥収集車購入費 1,765万円
- 要支援者名簿作成業務 **33万円**
- 町道の整備・維持補修 **5,510万円**  
町で管理している舗装された道路の維持補修と道路側溝の整備を行う予算です。
- 除排雪対策費 **2億4,278万円**
- 道路ストック補修事業 **1,200万円**  
町道都市計画街路中町線の道路を補修する予算です。
- 橋梁長寿命化補修事業 **4,734万円**  
橋梁をできるだけ長く安全に使用するため、長寿命化修繕計画に基づき補修する予算です。  
本年度は湯内橋の補修工事を行います。
- 電柱移設事業 **100万円**

- 余市港湾補修事業 **450万円**
- 河川護岸補修事業 **150万円**
- 空き家対策事業 **764万円**  
町内にある空家住宅を除却する場合に、補助金を交付する予算です。補助対象となる空家住宅は町の事前調査により、空家関連法令に基づく不良住宅の要件に該当すると判断された、1年以上居住者がいない空家状態の住宅です。
- 桜づつみ桜剪定事業 **20万円**  
余市川河畔の桜の木  
の剪定を行い、桜並木の保全を行う予算です。  

- 町営墓地の管理 **176万円**
- 町営斎場の管理 **1,596万円**
- クリーンセンター・登水処理施設の管理 **1,747万円**
- 港湾の管理 **366万円**
- 河川の管理 **3,112万円**
- 各公園の管理 **1,737万円**
- 円山公園ふれあい交流施設の管理 **502万円**
- 黒川町営駐車場の管理 **223万円**
- 町営住宅の管理 **2,773万円**
- 消防救助工作車購入事業 **1億1,612万円**  
高速道路の余市延伸に向け、消防救助工作車を購入する予算です。

# IV 産業・労働

## ～産業の振興と労働対策に関する事業～

### 注目 北海ソーラン祭り50周年開催事業 500万円

(担当) 商工観光課観光グループ

(事業内容)

「町民みんなで節目のまつりで盛り上がりよう!!」をコンセプトに、北海ソーラン祭り第50回の記念開催に多くの町民が関わり、町民みんなで盛り上げられる祭りを開催する予算です。

本年度は開催期間を2日間から3日間にして開催する予定です。

開催予定日：7月6日(金)、7日(土)、8日(日)

(主な経費)

負担金 500万円

(財源)

町の負担

400万円

市町村振興協会助成金

100万円



### 商店街の振興事業 829万円

(担当) 商工観光課商工労政グループ

(事業内容)

商店街の活性化のため各種事業を補助する予算です。

・商店街街路灯電灯料補助金

各商店街が、1年間に負担した街路灯の電気料金を最高2/3まで補助します。

・商店街活性化事業補助金

地域密着を主とした商店街イベントなどの費用に対して補助します。

・商店街空き店舗等活用支援補助金

町内の都市計画区域にある空き店舗の活用に対して補助します。

①店舗改修費1/2以内 上限50万円

②店舗賃借料1/2以内 月額上限5万円(1年間最高60万円)

・既存店舗改修支援事業補助金

町内の都市計画区域にある既存営業している店舗の改修に対して補助します。

①店舗改修費1/2以内 上限50万円

(主な経費) 商店街街路灯電灯料補助金 156万円 (財源) 町の負担 829万円

商店街活性化対策事業補助金 300万円

商店街空き店舗等活用対策補助金 200万円

既存店舗改修支援事業補助金 100万円

### 拡充 観光資源の発掘事業

320万円

(担当) 商工観光課観光グループ

(事業内容)

本町における着地型観光、滞在時間の延長を目的として、本町の特性を活かした体験型の観光資源を発掘する予算です。また、本年度は閑散期である冬期間の観光資源の発掘も行います。

(主な経費)

体験型観光資源発掘にかかる委託料 200万円

冬期間観光資源発掘にかかる補助金 120万円

(財源)

町の負担 260万円

市町村振興協会助成金 60万円

### 新規 観光トイレ洋式化事業

120万円

(担当) 商工観光課観光グループ

(事業内容)

増加する外国人観光客や高齢者、子ども等の利便性の向上を図るために黒川観光トイレの洋式化を行う予算です。

(主な経費)

工事請負費 120万円

(財源)

町の負担 80万円

国の負担 40万円

### 観光振興推進事業 2,282万円

(担当) 商工観光課観光グループ

(事業内容)

本町の観光振興を推進するため、余市観光協会への補助金や観光パンフレットの作成、訪日外国人旅行者受入態勢を整備する予算です。

(主な経費)

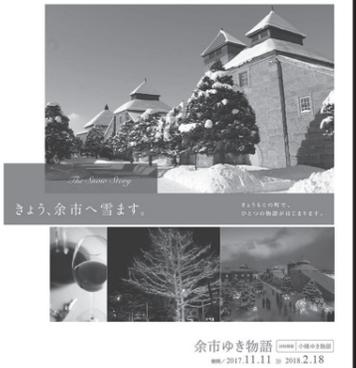
観光協会補助金 1,900万円

観光パンフレットなど 312万円

インバウンド関連経費 70万円

(財源)

町の負担 2,282万円



### 新規就農者対策事業 190万円

(担当) 農林水産課農政振興グループ

(事業内容)

農業者の高齢化や後継者不足等により未耕作地が増加の傾向にあり、その対策の一つとして、新規就農者を積極的に受け入れるため、新規就農希望者に対し、農業技術の研修を行う予算です。

(主な経費) 受入農家への謝礼 144万円 (財源) 町の負担 190万円

家賃助成金 36万円

新規就農者活動支援センター助成金 10万円

# IV 産業・労働

## 6次産業化にかか事業

144万円

(担当) 農林水産課産業連携推進グループ  
(事業内容)

ワイン産地としてのブランド化や、多様な農水産品からなる本町特産品のPRのためのイベント開催費用、また生産者自らの6次産業化に向けた研究開発等に対し支援する予算です。



さっぽろオータムフェスト2017

### (主な経費)

農水産加工品PR推進経費	87万円
ワインPR・推進経費	43万円
研究開発等経費	14万円

### (財源)

町の負担	74万円
道の負担	70万円

### 【6次産業化とは・・・】

6次産業化とは、農林漁業生産の1次産業、食品加工等の2次産業、流通・販売・サービスの3次産業が一体となって総合産業として発展していくことを目指し、さらに今まで2次・3次産業の事業者が得ていた付加価値を生産者自身が得ることにより、1次産業を活性化させていこうとするものです。

## ワインツーリズムプロジェクト実施事業

630万円

(担当) 農林水産課産業連携推進グループ  
(事業内容)

ワインツーリズムの定着と拡充を推進することで、町内の産業活性化を目的として取り組む事業であり、基盤となるぶどう栽培やワイン醸造設備等の整備支援、イベント等の開催支援、各種ツールを用いたPRを行う予算です。



モニターツアー

(主な経費) 栽培・醸造環境強化事業補助金	500万円	(財源) 町の負担	315万円
ワインツーリズム研究事業補助金	30万円	国の負担	315万円

## 【その他主要事業】

- 果樹地域適応性検定試験管理事業 26万円  
北海道立総合研究機構からの委託による地域適応性試験管理を行う予算です。
- 果樹奨励品種植栽事業 30万円
- 農業経営基盤整備事業 250万円
- 農業次世代人材投資事業 3,090万円

- 未来につなぐ森づくり推進事業 198万円  
町内にある一般民有林の森林資源の循環利用を推進するため、伐採後の確実な植林の推進を図る予算です。
- 二枚貝養殖試験事業 25万円
- 町有林保育事業 86万円

## ○水産資源の増殖事業 681万円

ウニ・アワビ・ニシン・あゆの稚貝・稚魚を放流し、水産資源増殖の推進を補助する予算です。



## ○有害鳥獣被害防止対策支援事業 25万円

エゾシカやヒグマ、アライグマ等による農業被害からの自己防衛と被害減少を目的として、電気柵やアライグマ箱わな購入に対し、一部補助する予算です。

## ○味覚の祭典事業 210万円

\*開催予定日  
9月30日(日)



## ○労働者にかかる各種事業 1,717万円

- (雇用対策事業等) 687万円
  - ・雇用対策事業  
失業者を臨時職員として雇用する予算です。
  - ・冬期雇用対策事業  
季節労働者等を臨時職員として雇用する予算です。
- (高齢者の就労支援事業) 430万円  
高齢者の就労を支援する予算です。
- (労働者への資金貸付事業) 600万円  
季節労働者の方や同じ職場に1年以上働いている一般労働者の方の日常生活の支援のため、一時金をお貸しする予算です。

## ○中小企業の振興事業 8,832万円

## ○余市iセンターの開設 170万円

## ○大川橋ライトアップ事業 11万円

## ○宇宙記念館事業 1,874万円

毛利宇宙飛行士の業績や宇宙開発、自然・地球環境などの学習の場として、情報提供、各種講座や教室等を行う予算です。



宇宙記念館イベント風景

## ○農村活性化センター・園芸試験場の管理 981万円

## ○農業構造改善センターの管理 86万円

## ○農業用施設の管理 150万円

## ○余市ダムの管理 839万円

## ○農道離着陸場の管理 231万円

## ○水産加工排水処理場の管理 1,241万円

## ○フィッシャリーナの管理 919万円

## ○宇宙記念館の管理 1,036万円

## ○スペース・アップル余市の管理 625万円

## ○観光物産センターの管理 1,529万円

## ○浜中・モイレ海水浴場の管理 403万円

## ○勤労青少年ホームの管理 354万円

## ○労働福祉会館の管理 96万円

# V 自治・まちづくり

## ～行財政運営と協働のまちづくりを進めるための事業～

### 高速道路開通 PR 事業 736万円

(担当) 企画政策課政策グループ

(事業内容)

①高速道路開通広域連携事業

平成30年度の北海道横断自動車道の延伸に向け、北後志6市町村が連携して地域のPRを行い、交流人口の増加を図るための予算です。

②高速道路開通地域活性化事業

町民への情報提供やイベントの開催等を通じて、高速道路の延伸に向けた町内の機運を高めるための予算です。

(主な経費)

負担金	250万円
PRに要する委託料	486万円

(財源)

町の負担	636万円
市町村振興協会助成金	100万円



### 余市町生涯活躍のまち形成事業

44万円

(担当) 企画政策課政策グループ

(事業内容)

平成27年度に策定した「余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく、人口減少に対応するための取組の1つとして、元気なシニア層の方々が都市部から本町に移り住み、まちに溶け込むことで、町民誰もが将来にわたり元気で活躍できる、持続可能な地域づくりを目指すための施策について検討する予算です。

(主な経費)

検討委員会開催のための経費	44万円
---------------	------

(財源)

町の負担	44万円
------	------

### ふるさと納税事業

2,523万円

(担当) 企画政策課政策グループ

(事業内容)

ふるさと納税の取扱いにかかる予算です。町特産品のPR促進を図るため、昨年度からクレジット収納による寄附金の受入を行っています。

(主な経費)

ふるさと納税取扱業務委託料	2,475万円
公金クレジット取扱手数料	43万円

(財源)

町の負担	2,523万円
------	---------

### 区会街灯補助事業 652万円

(担当) 建設課管理グループ

(事業内容)

街灯設置補助金：各区会等の街灯の設置費用および更新費用に対し1/2以内の金額を補助する予算です。

街灯料補助金：各区会等が1年間に負担した街灯料に対し2/3以内の金額を補助する予算です。

(主な経費) 街灯設置補助金	252万円
街灯料補助金	400万円

(財源) 町の負担	652万円
-----------	-------

### 移住定住対策等事業 374万円

(担当) 企画政策課政策グループ

(事業内容)

余市町への移住希望や検討をされている方々に向けて、町の概要やセールスポイントなどの情報を発信し、移住・定住の促進と交流人口の増加を図るための予算です。

(主な経費) 各種フェアへの参加、PR事業経費 374万円

(財源) 町の負担	194万円
道の負担	10万円
市町村振興協会助成金	170万円



オール北海道移住・定住フェア

### ゆかりの自治体との地域連携の推進 159万円

(担当) 企画政策課政策グループ

(事業内容)

本町との歴史的なつながりや、連続テレビ小説「マッサン」の放映による交流活動を契機とした、ゆかりの自治体との連携を図り、「ひと」や「もの」を通じた交流を推進するための予算です。

福島県会津若松市：会津藩士が余市町に入植、本町農業の基礎を築く【親善交流都市】

奈良県五條市：五條高校賀名生分校の農業研修生の受け入れ【災害時相互応援協定締結、交流都市提携】

広島県竹原市：余市町名誉町民である竹鶴政孝氏の出身地

(主な経費) 連携推進のための旅費	122万円
ゆかりの自治体との交流事業のための経費	16万円
特産品等のPRのための経費	11万円

(財源) 町の負担	159万円
-----------	-------



平成29年度会津若松市訪問事業

### 【その他主要事業】

○区会活動経費	367万円	○消費者行政対策経費	76万円
○自治基本条例制定業務	50万円	○無料法律相談	51万円
○余市町まち・ひと・しごと創生委員会	20万円	○職員厚生・研修関係経費	1,042万円
○広報よいちの発行	668万円	○電算管理経費	3,789万円
○議会だよりの発行	350万円	○財務諸表の作成	86万円
		○交通安全関係経費	1,431万円
		○役場庁舎の管理	1,410万円

# 特別会計・公営企業会計

## 特別会計

一般会計に対し、特定の歳入歳出を一般の歳入歳出と区別して別個に処理するための会計です。本町には4つの特別会計予算があります。

### ◎国民健康保険特別会計

予算総額 27億4,900万円

余市町にお住まいで、他の健康保険制度に加入していない方を対象として、医療機関で受診されたときの保険給付や出産一時金・葬祭費の支給と特定健診などを行う予算です。

<b>(担当)</b> 保健課	
<b>(財源)</b> 町の負担	2億 904万円
道の負担	20億7,570万円
他の公的機関等の負担	90万円
国民健康保険税	4億6,336万円

### ◎後期高齢者医療特別会計

予算総額 3億2,900万円

後期高齢者医療制度に加入する75歳以上の方と、65歳から74歳までの一定の障がいのある方から保険料を徴収し、本町が加入する北海道後期高齢者医療広域連合へ負担金を支払う予算です。

<b>(担当)</b> 保健課	
<b>(財源)</b> 町の負担	1億 365万円
国の負担	72万円
他の公的機関等の負担	63万円
後期高齢者医療保険料	2億2,400万円

### ◎介護保険特別会計

予算総額 23億3,105万円

介護保険サービスに係る保険給付と介護予防などを目的とする地域支援事業を行う予算です。

<b>(担当)</b> 高齢者福祉課	
<b>(財源)</b> 町の負担	3億2,992万円
国の負担	5億9,779万円
道の負担	3億3,645万円
他の公的機関等の負担	6億 864万円
介護保険料など	4億5,825万円



### ◎公共下水道特別会計

予算総額 12億5,870万円

各家庭のトイレの水洗化等による快適で衛生的な生活を促進し、下水道事業の普及により公衆衛生の向上と公共用水域の水質を保全し、きれいなまちづくりを進めます。

本年度は、下水道管や下水処理場などの整備を予定しています。

<b>(担当)</b> 下水道課	
<b>(財源)</b> 町の負担	4億9,273万円
国の負担	8,030万円
借入金	4億 900万円
下水道料金	2億7,431万円
その他	236万円

## 公営企業会計

公営企業は、民間企業と同じように事業を運営します。

本町には、水道事業会計予算があります。

### ◎水道事業会計

予算総額 12億8,900万円

町民の皆さんに水道水を供給する事業であり、公営企業として事業に要する経費等の大部分は皆さんからの「水道料金収入」で賄われています。

本年度は、主要な管路の耐震化工事と、浄水場・取水ポンプ場などの設備の更新を予定しています。

<b>(担当)</b> 水道課	
<b>(財源)</b> 町の負担	7,885万円
道の負担	3,727万円
借入金	2億5,030万円
水道料金	5億4,051万円
その他	1億4,687万円

※予算総額（支出総額）と財源（収入総額）の差額は、予算総額に現金支出が伴わないもの（減価償却費等）が含まれていることと、前年度からの繰越金で補てんします。

# 人件費の状況

特別職と職員の給料や手当の状況をお知らせします。

## 1. 特別職（町長、副町長、教育長）の給料等

町長などの特別職は、条例で下表の給料月額となっています。

項目	給料月額
町長	795,000円
副町長	655,000円
教育長	590,000円

予算計上額（今年度支給が見込まれる額）

項目	年間支給総額
給料、手当	3,511万円

## 2. 一般職（特別職以外の職員）

予算計上額（今年度支給が見込まれる額）

項目	年間支給総額④	職員1人当たり⑤	平均年齢
給料、手当	11億9,863万円	576.3万円	42歳5ヵ月

※ 職員1人当たり⑤欄は、年間支給総額④欄を職員数208人（うち、8人再任用短時間勤務職員）で除したものです。

職員数

職名等	人員
部長職	7人
課長職	20人
主幹職	46人
係長職	51人
係員等	(8) 76人
合計	(8) 200人

※ ( ) は、再任用短時間勤務職員の外書き

## 3. 共済費（健康保険、年金等の負担金）

項目	予算計上額
特別職	1,519万円
一般職	3億9,280万円

## 4. 委員報酬

議会議員や各種委員等に支払う報酬です。

人員	年間支給総額
571人	7,923万円

# 補助金について

補助金は地域の活性化や産業の振興に役立つ公益性の高い団体に対し交付するお金です。平成30年度は総額で2億72万円、前年度と比較して2,771万円の減額を見込みました。

補助金名	万円	補助金名	万円
余市町区会連合会補助金	160	未来につなぐ森づくり推進事業補助金	198
私立学校補助金	118	水難救済会余市救難所補助金	49
余市町の未来を担う青少年育成事業補助金	15	余市漁業無線局運営費補助金	445
交通安全推進事業補助金	22	潮見町飲料水組合補助金	24
栽培・醸造環境強化事業補助金	500	波浪情報システム運営補助金	39
ワインツーリズム研究事業補助金	30	浅海増殖事業補助金	631
ワイン品評会出品支援事業補助金	30	あゆ資源増殖事業補助金	50
ワインツーリズム普及拡大支援事業補助金	70	ムール貝養殖試験事業補助金	15
余市町明るい選挙推進協議会補助金	9	ホタテ・カキ養殖試験事業補助金	10
余市町招魂祭奉賛会補助金	50	余市商工会議所補助金	400
余市町社会福祉協議会補助金	1,528	余市商工会議所中小企業相談所補助金	900
余市町身体障害者福祉協会補助金	26	余市町中小企業振興融資保証料補助金	500
余市手話会補助金	5	商店街活性化対策事業補助金	300
後志ろうあ協会余市支部補助金	6	町内商店街街路灯電灯料補助金	156
余市町心身に遅れをもつ子と共に歩む会補助金	3	商店街街路灯設置事業補助金	25
地域活動支援センター補助金	400	空き店舗等活用支援補助金	200
高齢者在宅総合ケアセンター施設整備資金償還補助金	1,028	既存店舗改修支援事業補助金	100
特別養護老人ホーム施設整備資金償還補助金	265	余市観光協会補助金	1,900
老人クラブ補助金	220	北海ソーラン太鼓保存会補助金	10
老人クラブ連合会補助金	94	冬の観光推進事業補助金	120
余市町認知症の人を支える家族の会補助金	9	道路河川愛護組合連合会補助金	19
介護保険サービス利用者負担軽減補助金	29	空家住宅除却費補助金	750
延長保育事業補助金	70	区会街路灯設置補助金	252
一時預かり事業補助金	231	区会街灯料補助金	400
児童館母親クラブ補助金	14	余市船主組合補助金	68
余市協会病院建設補助金	2,228	保留地管理法人安定化補助金	1,267
余市協会病院医療研究補助金	320	住宅取得等支援補助金	1,145
余市町善意献血協会補助金	10	余市養護学校後援会補助金	30
ごみステーション設置補助金	25	余市紅志高等学校後援会補助金	50
余市地区支部連合事業補助金	26	余市へき地複式教育研究協議会補助金	5
余市町シルバー人材センター運営事業補助金	425	余市町教育研究会補助金	28
果樹園野そ駆除事業補助金	20	余市町女性団体連絡協議会事業費補助金	8
果樹奨励品種植栽事業補助金	30	余市町PTA連合会事業費補助金	8
経営所得安定対策推進事業補助金	25	余市文化協会事業費補助金	60
農業経営基盤整備事業補助金	250	余市町地域子ども会育成連絡協議会補助金	52
有害鳥獣被害防止対策支援事業補助金	25	余市体育連盟事業費補助金	208
余市川土地改良区管理体制整備強化事業補助金	146	余市町スポーツ少年団本部事業費補助金	31
余市土地改良区補助金	1,053	幼稚園就園奨励費補助金	28
森林整備地域活動支援事業補助金	76		

# 一般会計の歳入予算について

## ◎歳入の概要

平成30年度の予算は、歳入総額86億4,000万円で、内訳としては地方交付税が35億697万円と最も多く、次いで町税17億3,663万円、町債8億4,632万円の順になっています。

歳入全体の構成では、町税などの自主財源は24億6,225万円で28.5%、地方交付税などの依存財源が61億7,775万円で71.5%となっており、国や北海道、町債（借金）などに頼った収入構造となっています。

### 【主な歳入の内訳】

#### ■地方交付税

一定の基準により国から地方に交付されるお金で、歳入の中では最大の40.6%を占めています。本年度は前年度に比べ約6,560万円の減額を見込んでいます。

#### ■国庫支出金

特定の事業を実施するために国から交付されるお金です。

児童手当負担金1億5,907万円、障害者自立支援給付費負担金2億3,232万円などの民生関係が主で、ロータリ除雪車購入事業補助金の増などにより全体で5,308万円の増額を見込んでいます。

○当初予算額 (単位:万円)

項目	予算額	前年度増減額
町税	17億3,663	▲5,031
繰入金	3億1,044	6,970
使用料及び手数料	1億7,968	367
分担金及び負担金	5,711	▲151
その他収入	1億7,839	3,439
<b>自主財源合計</b>	<b>24億6,225</b>	<b>5,594</b>
地方交付税	35億697	▲6,560
町債	8億4,632	3億691
国庫支出金	7億4,181	5,308
道支出金	5億8,415	2,967
譲与税・交付金	4億9,850	0
<b>依存財源合計</b>	<b>61億7,775</b>	<b>3億2,406</b>
<b>合計</b>	<b>86億4,000</b>	<b>3億8,000</b>

※前年度増減額は平成29年度当初予算額との比較

#### ■道支出金

特定の事業を実施するために北海道から交付されるお金です。

主なものは、国庫支出金と同様の民生費関係や、保険基盤安定負担金などです。

#### ■町債

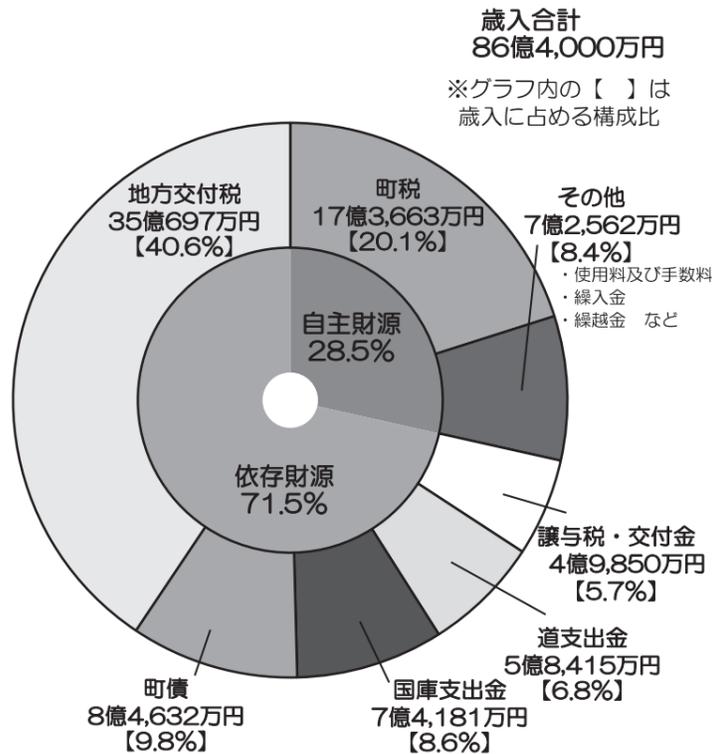
特定の事業を行うために国や金融機関から借りるお金で、町営斎場建替事業などの過疎対策事業債や特例として認められる臨時財政対策債が大部分を占め、前年度に比べ3億691万円の増額を見込んでいます。

### ★自主財源って何？

自主財源とは、町税や使用料・手数料など、町が独自に確保できるお金のことです。財政基盤を安定させ、町民のニーズに応じた自主性のある行政サービスを提供するためには、一般的に自主財源の割合が高いほうが望ましいと考えられています。本町はここ数年自主財源の割合がほぼ3割で推移しています。

※自主財源・依存財源割合の推移 (当初予算)

	自主財源	依存財源
H30	28.5%	71.5%
H29	29.1%	70.9%
H28	28.8%	71.2%
H27	29.2%	70.8%
H26	30.8%	69.2%
H25	29.6%	70.4%

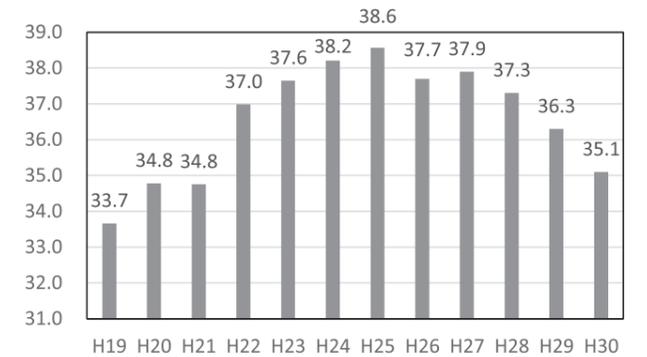


## ◎地方交付税の推移

地方交付税とは、国税の一部を法令に基づき、その一定割合を国が地方公共団体に対し交付するものです。地方交付税には、人口や面積などをもとに算定された一般的な行政運営に必要な経費に対する財源不足額に対して交付される普通交付税と、普通交付税では算定されない個別、緊急の財政需要（大雪、災害など）に対して算定される特別交付税があります。

本町の地方交付税は国の三位一体の改革などにより、平成19年度には33億円まで減額となり、その後は増額傾向にありましたが、平成26年度より落ち込みを見せ始め、平成30年度も平成29年度決算見込みより減額を見込んでいます。

地方交付税の推移 単位:億円



※H28までは決算額、H29は決算見込額、H30は当初予算額

## ◎町税の状況

平成30年度当初予算は平成29年度当初予算に比べ、評価替えに伴う固定資産税の減収などにより全体で約5,031万円少ない17億3,663万円を見込んでいます。

また、平成29年度決算見込（下表参照）に比べると5,194万円の減収が見込まれます。

○当初予算額 (単位:万円)

項目	予算額	前年度増減額
町民税	7億3,755	▲665
固定資産税	6億4,930	▲2,758
軽自動車税	3,857	121
市町村たばこ税	1億9,590	▲887
都市計画税	1億1,232	▲431
入湯税	299	▲411
<b>合計</b>	<b>17億3,663</b>	<b>▲5,031</b>

※前年度増減額は平成29年度当初予算額との比較

★町税のうち、都市計画税と入湯税は、その税収の使い道が特定されている目的税となっています。

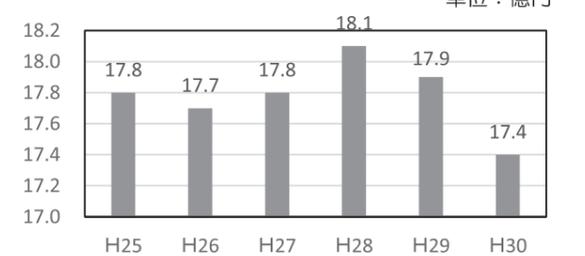
#### ■都市計画税

下水道・公園・街路事業などの都市計画事業の財源として使われています。

#### ■入湯税

環境衛生施設や消防施設の整備、観光の振興に要する費用の財源として使われています。

町税収入の推移 単位:億円



※H28までは決算額、H29は決算見込額、H30は当初予算額

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町民税	7億3,019	7億4,110	7億6,247	7億6,639	7億3,755
固定資産税	6億8,648	6億7,848	6億8,392	6億6,889	6億4,930
軽自動車税	3,088	3,138	3,596	3,715	3,857
市町村たばこ税	1億9,259	2億858	2億902	1億9,759	1億9,590
都市計画税	1億2,157	1億1,757	1億1,797	1億1,636	1億1,232
入湯税	1,305	252	254	219	299
<b>合計</b>	<b>17億7,476</b>	<b>17億7,963</b>	<b>18億1,188</b>	<b>17億8,857</b>	<b>17億3,663</b>

# 一般会計の歳出予算について

## ◎目的別歳出

歳出予算を土木や教育など、その行政目的ごとに分類した平成30年度の歳出は右の表のとおりとなっています。

民生費が19億7,235万円と最も多く、次いで衛生費18億7,892万円、土木費12億7,302万円の順になっています。

### 【主な目的別歳出の内訳】

#### ■民生費

高齢者や障がい者、子育てなどの福祉に使うお金です。

障がい福祉サービスの利用件数が増加しており、前年度に比べ増額となっています。

#### ■衛生費

健診や予防接種、ごみ処理などに使うお金です。町営斎場建替事業の増により前年度に比べ増額となっています。

#### ■土木費

道路や公園、町営住宅などの整備や維持管理に使うお金です。大浜中登線道路整備事業やロータリ除雪車購入事業などの増により前年度に比べ増額となっています。

○当初予算額 (単位：万円)

名称	平成30年度	前年度増減額
議会費	1億4,606	▲239
総務費	8億7,944	4,059
民生費	19億7,235	1,724
衛生費	18億7,892	2億8,820
労働費	3,157	▲178
農林水産業費	2億5,876	▲1,620
商工費	2億3,487	329
土木費	12億7,302	6,994
消防費	6億3,508	1億1,807
教育費	6億1,025	▲4,815
公債費	7億1,468	▲8,881
予備費	500	0
計	86億4,000	3億8,000

※前年度増減額は平成29年度当初予算額との比較

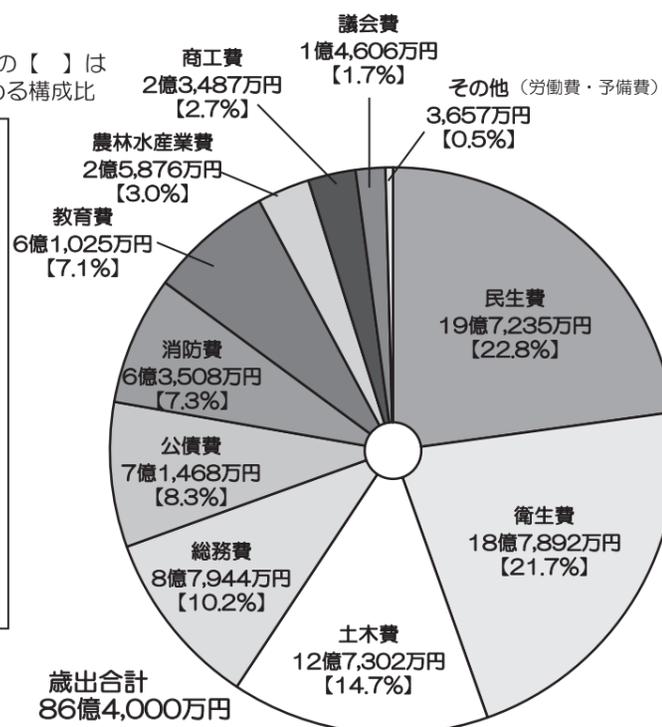
#### ■消防費

消防や救急、消防団の活動に使うお金です。消防救急工作車を新たに購入するため、増額となっています。

#### ■教育費

小学校・中学校の教育や文化・スポーツの振興に使うお金です。圧雪車更新事業の終了や教職員住宅解体事業の減などにより前年度に比べ減額となっています。

※グラフ内の【 】は歳出に占める構成比



- ☆議会費  
議会を運営するために使うお金
- ☆総務費  
行政全般の管理経費や税金の賦課徴収、戸籍住民票の管理などに使うお金
- ☆労働費  
雇用の促進や勤労者の福祉に使うお金
- ☆農林水産業費  
農業、林業、水産業の振興や施設の維持管理・整備に使うお金
- ☆商工費  
観光の振興や中小企業支援などに使うお金
- ☆公債費  
町債(借金)の返済に使うお金
- ☆予備費  
緊急な対応が必要となった場合に使うお金

## ◎性質別歳出

予算を人件費や公債費など、その経済的性質を基準として分類した平成30年度の性質別歳出は、右の表のとおりとなっています。

各種団体への補助金や負担金などの補助費等が16億7,874万円と最も多く、次いで人件費が16億7,816万円、医療費助成など社会保障関係経費などの扶助費が13億7,485万円の順となっています。

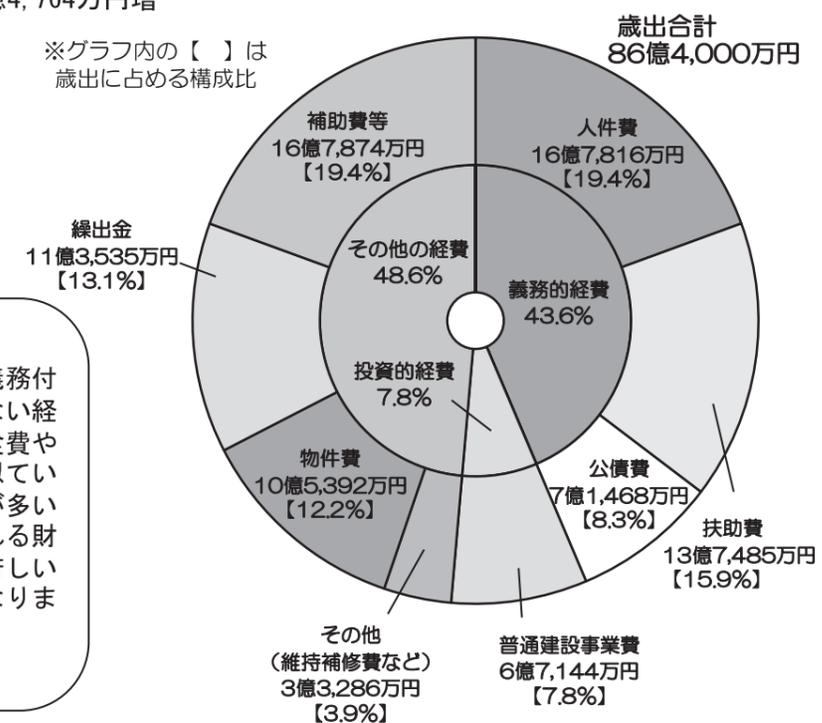
項目別に見てみますと、人件費、扶助費、公債費をあわせた義務的経費が、前年度より1,563万円減少し、普通建設事業費などの資産形成のための経費で将来の資産として残る投資的経費は、町営斎場建替事業やロータリ除雪車購入事業などで2億4,799万円増加、物件費や補助費などのその他の経費は北後志消防組合への負担金の増などで1億4,764万円増加しています。

○当初予算額 (単位：万円)

名称	平成30年度	前年度増減額
人件費	16億7,816	1,094
扶助費	13億7,485	6,224
公債費	7億1,468	▲8,881
<b>義務的経費計</b>	<b>37億6,769</b>	<b>▲1,563</b>
補助費等	16億7,874	12,128
繰出金	11億3,535	1,797
物件費	10億5,392	838
その他	3億3,286	1
<b>その他の経費計</b>	<b>42億87</b>	<b>1億4,764</b>
普通建設事業費	6億7,144	2億4,799
<b>投資的経費計</b>	<b>6億7,144</b>	<b>2億4,799</b>
<b>合計</b>	<b>86億4,000</b>	<b>3億8,000</b>

※前年度増減額は平成29年度当初予算額との比較

※グラフ内の【 】は歳出に占める構成比



#### ★義務的経費

義務的経費は、その支出が義務付けられている任意に削減できない経費であり、家計にたとえると食費や医療費、ローンの返済などに似ています。これらの経費への支出が多いほど、他の行政経費に充てられる財源が少なくなることにより、苦しい財政運営を強いられることとなります。

- ☆人件費  
町長や議員、一般職員に支払われる報酬や給料
- ☆扶助費  
医療費助成や障がい者に対する福祉制度にかかる経費
- ☆公債費  
町債(借金)の返済に使う経費
- ☆普通建設事業費  
道路の新設や学校の改修などの建設事業のための経費
- ☆物件費  
消耗品、光熱水費、旅費、委託料などの経費
- ☆繰出金  
介護保険や公共下水道などの特別会計への負担
- ☆補助費等  
消防組合や衛生施設組合などへの負担金や各種団体への補助金などの経費

# 町の財政の健全性について

## ◎健全化判断比率から見る町の財政状況

町の財政の健全性は「健全化判断比率」という、法律によって定められた5つの指標により判断することができます。

5つの指標にはそれぞれに基準があって、基準を超えると財政の健全化に向け厳しい取り組みが求められ、まちづくりに様々な影響が及びます。

### 平成28年度の算定結果は？

平成28年度はこれまでの新規建設事業や、これに伴う借入金の抑制と市町村の貯金にあたる基金の積立額の増加に努め、下の表のとおり各比率とも「早期健全化基準」を下回るとともに平成27年度に比べ数値が改善しました。

しかしながら、本町の比率は依然として全道の平均を上回っており、今後も税収や地方交付税の減少など厳しい財政状況が予測されることから、引き続き健全な財政運営に努めてまいります。

町の健全化判断比率（平成28年度決算による）

（単位：％）

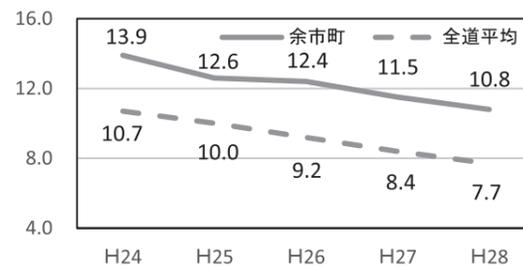
指標の名称	余市町	早期健全化基準	財政再生基準
○実質赤字比率	(赤字なし)	14.55	20.0
○連結実質赤字比率	(赤字なし)	19.55	30.0
○実質公債費比率	10.8	25.00	35.0
○将来負担比率	86.2	350.00	—
○資金不足比率	(資金不足なし)	20.00 (経営健全化基準)	

### ■健全化判断比率の過去5カ年間の推移

#### ○実質公債費比率

一般会計が負担する借金の償還金が財政の規模に比べてどのくらいの大きさを示す比率です。

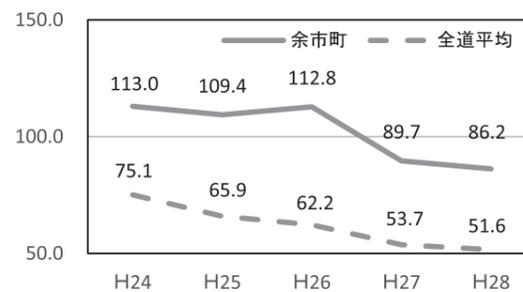
平成28年度決算における早期健全化基準以上の市町村は、全道179市町村のうち1団体となっており、本町の比率は数値の高い（悪い）順で46位となっています。



#### ○将来負担比率

一般会計のほか公共下水道特別会計、水道事業会計の借入金の返済に充てるためのお金など、今後支払う可能性があるお金を計算し、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

平成28年度決算における早期健全化基準以上の市町村は、全道179市町村のうち1団体となっており、本町の比率は数値の高い（悪い）順で28位となっています。



#### ○実質赤字比率・連結実質赤字比率・資金不足比率

一般会計の赤字が財政の規模に比べてどのくらいの大きさを示す比率が実質赤字比率で、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療、公共下水道、水道事業会計の各特別会計を含めた比率が連結実質赤字比率です。平成28年度の決算では一般会計で赤字がないため実質赤字比率はなく、特別会計は国民健康保険特別会計のみ赤字が発生しましたが、全会計の合計収支では赤字がないため連結実質赤字比率もありません。

資金不足比率は公営企業の財政規模に対して不足する資金（赤字額）の比率で、本町では公共下水道特別会計、水道事業会計が対象ですが、いずれの会計も資金不足（赤字額）がないため比率がありません。

## ◎近隣市町村との比較から見る町の財政状況

町の財政状況を見る指標としては「健全化判断比率」のほか、主な指標として「財政力指数」と「経常収支比率」があります。

ここでは、これらの指標をもとに、近隣市町村との比較をしながら、町の現状をお知らせします。

### 財政力指数

#### 財政力指数とは？

町の財政力を示す指標で、この数値が大きいくほど財政的に余裕があることとなります。

計算方法は、地方交付税の計算方法により、町が標準的に収入することができる収入額「基準財政収入額」を、平均的な水準で行政を行った場合に必要な金額「基準財政需要額」で除した数値です。

数値が「1」であれば100%の経費を自分の町で賄うことができることを意味します。

#### 余市町の財政力指数は？

財政力指数は、前3カ年の平均値で計算され、平成29年度は0.336となります。

平成29年度単年度では

基準財政収入額 17億2,941万円  
基準財政需要額 50億2,823万円  
= 0.344

なお、平成28年度数値の管内他市町村との比較では、泊村（1.710）、京極町（0.557）、俱知安町、小樽市に次ぐ数値となっておりますが、自前で調達できる財源が約3割と決して余裕のある財政状況ではありません。

### 経常収支比率

#### 経常収支比率とは？

町の支出は、毎年継続し固定的に支出される「経常的経費」とそうではない一時的に必要な「臨時的経費」に分けられます。

収入も毎年度連続して継続的に収入のある「経常的収入」とそうではない一時的な収入の「臨時的収入」に分けられます。

経常収支比率は経常的支出を経常的収入で除した数値で、この割合が低いほど各市町村の裁量で自由に使えるお金があることを示し、住民の新たな行政需要に弾力的に対応でき、また、地域の経済変動にも速やかに対応することが可能となります。

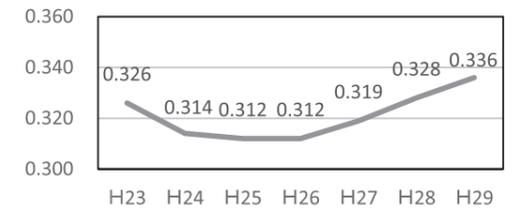
#### 平成28年度の余市町の経常収支比率は？

歳出経常一般財源 56億 446万円  
歳入経常一般財源 58億2,160万円  
×100=96.3%  
となります。

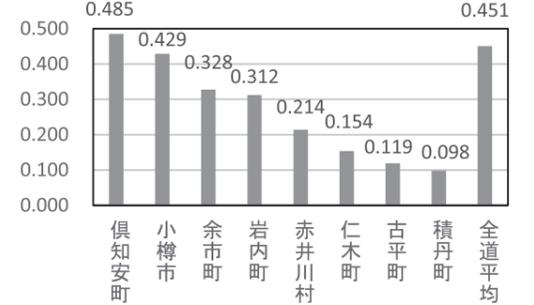
本町の数値は全道平均より高く、全道179市町村中9番目に高い比率となっています。

経常収支比率は一般的に70～80%が妥当な数値と考えられており、数値としては、本町は弾力性に乏しく町の裁量で自由に使えるお金が少ない財政状況と言えます。

#### 財政力指数の推移

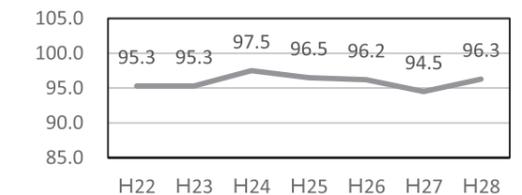


#### 後志管内主な市町村の財政力指数(H28)

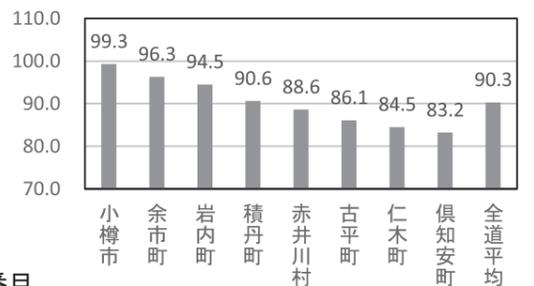


（平成28年度の道内市町村決算の概要）

#### 経常収支比率の推移



#### 後志管内主な市町村の経常収支比率(H28)



（平成28年度の道内市町村決算の概要）

## ◎町の貯金と借金の状況

安定した財政運営を進めていくために積み立てている町の貯金（基金）と、大規模な建設事業を行う際に国や銀行などから借り入れている借金（町債）の状況についてお伝えします。

### 町の借金（町債）

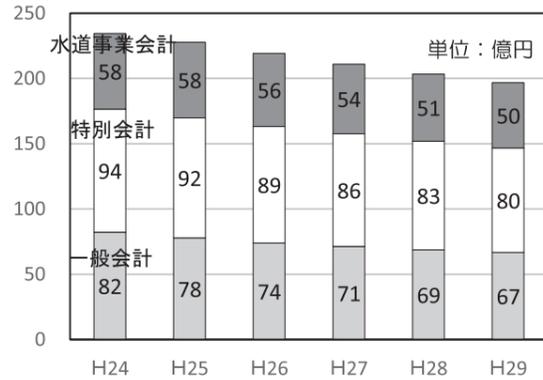
#### 借金（町債）はどのくらいあるの？

平成29年度末の借金（町債）の残高は前年度末に比べ、全会計あわせて約6億2千万円減少し、総額約196億8千万円となる見込みです。原則、借入の目的は、公共施設などの建設事業であります。建設事業には多額のお金が必要になるほか、これらの施設は現在の住民ばかりでなく世代を超えて長く利用されるため、世代間の負担を公平にするという意味でも地方債という借金を活用し、長期間返済しています。もちろん家計と同じで無理なく返せる範囲でしか借金はすべきではなく、現在は計画的に借金を減らすよう努めています。

(単位：万円)

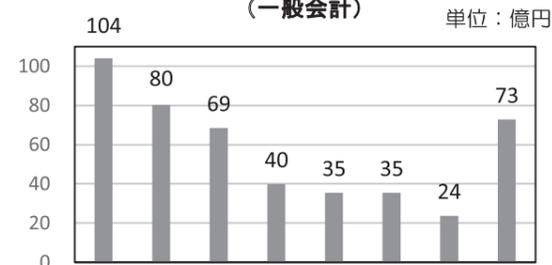
会計	H28年度末残高	H29年度		H29年度末残高
		元金返済額	借入予定額	
一般会計	68億5,391	7億2,482	5億4,171	66億7,080
特別会計	82億9,593	6億8,638	3億8,660	79億9,615
下水道事業	82億9,406	6億8,451	3億8,660	79億9,615
介護保険事業	187	187		
水道事業会計	51億4,918	3億706	1億7,300	50億1,512
合計	202億9,902	17億1,826	11億131	196億8,207

#### 町債残高の推移



※H29は決算見込

#### 後志管内主な町村の町村債残高 (H28) (一般会計)



(平成28年度の道内市町村決算の概要)

### 町の貯金（基金）

#### 貯金（基金）はどのくらいあるの？

基金とは、特定の目的や財政運営のために使う貯金のことです。町債が将来にわたって負担を残すものとする、基金はその反対で将来世代の負担を軽減するものといえます。平成29年度については、全体で約2億3,814万円を取り崩す一方、約2億5,848万円を積み立てたことにより年度末の残高は10億6,238万円となっています。

(単位：万円)

区分	H28年度末残高	H29年度		H29年度末残高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	5億2,107	1億7,002	1億7,000	5億2,109
減債基金	1億1,522		2,300	9,222
その他の特定目的基金	4億575	8,846	4,514	4億4,907
その他の特定目的基金の内訳				
職員等退職手当負担金基金	6,185			6,185
公共施設建設整備基金	1億1,280	2,831	498	1億3,613
社会福祉施設等建設整備基金	7,923	111	348	7,686
町営住宅敷金基金	1,577		50	1,527
教育施設建設整備基金	1億582	11	3,282	7,311
災害見舞基金	500			500
緑化推進基金	188			188
図書整備基金	148	21	100	69
余市町ふるさと応援寄附金基金	2,192	5,872	236	7,828
合計	10億4,204	2億5,848	2億3,814	10億6,238

#### ○一般会計の状況

一般会計の借金（町債）の残高は、平成14年度末に残高が約120億円まで増加しました。

このため、新たな借金の抑制や低金利な条件への借り換えなど、町債残高の減少に努めてきた結果、その後は毎年度緩やかに減少し、平成29年度末の残高は66億7,080万円となり、平成14年度末と比べ約53億円減少しています。

なお、平成30年度については、Jアラート受信機の更新事業や公営住宅の整備、公共施設の解体にかかる借り入れのほか、過疎対策事業債、臨時財政対策債など一般会計全体で約8億4,632万円を借り入れし、約6億4,905万円の元金返済を予定しています。

(参考)

町債の中には、本来、国が補助金や交付金などの形で自治体に交付しなければならないものを国に代わって町が借り入れし、後年度その返済額を国が補填しているものも含まれます。この国が補填する返済額は、毎年、地方交付税の計算に含めて町に交付されています。

H28年度末残高 202億9,902万円  
うち国から交付される額 93億234万円  
町が実際に負担する額 109億9,668万円

※借入金の返済に対して国から補填される額を将来にわたって正確に算出することはできないため、おおよその目安として計算しています。

本町は平成19年度に赤字決算となるなど財政状況が悪化し、平成19年度末の基金残高は全体で約2億8,000万円まで減少しましたが、その後の行財政改革などによる財政状況の改善により、徐々にではありますが基金残高は増加傾向にあります。しかし、H28年度末における残高は後志管内でも3番目に少ない状況にあり決して残高が多い状況ではありません。

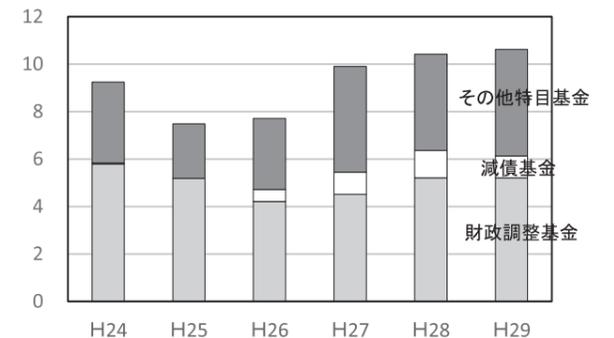
※平成29年度の収支が黒字となった場合、平成30年度に一定額を基金に積立することになります。

#### 基金の種類

- ①財政調整基金  
災害や緊急・やむをえない事態が発生したときなどに対応するための備えとなる積立金です。
- ②減債基金  
町債（借金）の返済に備えとなる積立金です。
- ③その他の特定目的基金  
福祉の充実や教育の振興など、それぞれの目的に応じた事業を実施する際の備えとなる積立金です。

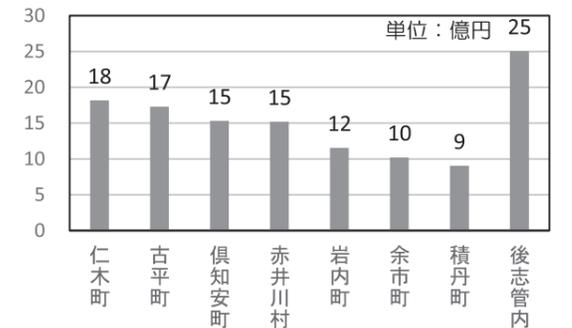
#### 基金残高の推移

単位：億円



※H29は決算見込

#### 後志管内主な町村の基金残高(H28)



(平成28年度の道内市町村決算の概要)



**平成30年度 余市町の予算説明書**

**発行** 北海道余市郡余市町

**編集** 余市町総務部財政課財政グループ

**TEL** 0135-21-2111

**FAX** 0135-21-2144

**HP** <http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>